## 一般演題1-3

# 透析症例の重症下肢虚血に対する高気圧酸素治療の経験

松井 傑 佐々木孝治 坂入隆人 駒木 亨 医療法人 桑園中央病院

## はじめに

高齢化と原疾患の糖尿病増加により透析症例の重 症下肢虚血(Critical Limb Ischemia以後CLI)に 対する治療が課題となっている。透析症例のCLI有 病率は40%との報告も有り、また下肢大切断術後の 予後は1年生存率50%と極めて不良である。当院は 血液浄化に特化している市中病院であるが本年7月よ りCLI症例の救肢目的に第1高気圧酸素治療装置を 導入し治療を行なっている。透析症例のCLIは血管 の石灰化もあり下肢血流評価には皮膚灌流圧 (Skin Perfusion Pressure 以下SPP) が有用である。しか し治療経過中に予測不能な血流低下により壊死が進 行する事も少なくない。今回CLI治療中に創壊死に より敗血症を呈するも高気圧酸素治療(以下HBO) により劇的に軽快した症例を経験したので報告する。 症例 76歳男性 53歳より血液透析導入(慢性糸 球体腎炎) 週3回の維持透析を継続している。71歳 両下肢閉塞性動脈硬化症 75歳左下肢切断術(AK) 原病歴 2012年7月上旬より右I趾陥入爪を認める も保存的治療で軽快せず、CLI評価、保存的治療目 的に当院紹介入院。

#### 経過

①入院時SPPは右足背22/24mmHgと低値だった。 2週間の保存的治療にも改善なくSPP再検,右足背 16/19mmHgと悪化傾向であった。下肢造影CT所 見は右前脛骨動脈の途絶を認めた。23年の透析歴 もあり血管状態はリスクが高かったが本人の強い希望 もあり血管形成術目的に8月1日循環器内科へ転院。 8月2日右下肢血管形成術施行。しかし石灰化が強 くバルーンカテーテル断裂し拡張できずに終了。8月 6日保存的治療の継続の為当科再入院。趾先の壊死 が始まっておりHBO2.0ATA 90分を開始した。しか し虚血、壊死は進行した。予後を考えると切断術が 望ましいと判断、形成外科へ転院し8月24日右大腿 切断術施行、経過は順調だった。9月3日突然創部 より排膿があり、その後急激に断端部壊死が進行し 創離解へ至った。感染はコントロールできず敗血症へ移行、ショック状態となり維持透析も困難な為9月11日当院へ再入院となった。

②入院時胸腹部所見に異常なくも呼吸は速迫,白血球18770,CRP24.70,血圧70/40mmHg,体温38.4℃,右大腿部創は壊死組織,膿瘍(培養はMRSA)が混在していた。SPPは創外側33mmHg内側30mmHgと低値だった。断端部感染に起因する敗血症ショックと診断しPMX-DHPを開始,4時間施行後血圧は110/70mmHgと改善,HBO2.0ATA90分を開始した。同時にDRPM,ABK,グロブリン製剤も投与開始した。翌12日白血球9010,CRP8.65,創面も著明な改善を認めた。19日HBO8回終了時には白血球8180,CRP3.29,創は良性の肉芽が増加しMRSAは既に陰性化,26日HBO14回終了時壊死組織は消失し良性肉芽組織で覆われ,10月3日HBO20回終了時には創縮小も始まった。

### 考察

高気圧酸素療法の創傷治癒への効果は

- \*局所の低酸素の改善、末梢循環の改善
- \*好中球殺菌作用の増大による炎症性浮腫の軽減
- \*膠原再生の促進,新生血管の増生1)
- \*血流内の幹細胞増加作用<sup>2)</sup>
- \*創傷治癒効果は治療後も継続する3)とされている。

今回の症例でも創状態が日々改善していった経緯はまさにHBOの有効性を実証している。断端のSPPが低値にも関わらず、良好な肉芽形成があり、短時間でMASAが消失した事は創面に対する酸素の直接作用も示唆していると思われた。一方でSPP低値の趾先部へのHBOはあまり有効ではなかった。潰瘍性病変には有効なるも壊疽性病変には効果が少なかった報告もあり<sup>4,5)</sup>今後更なる検討、評価が必要と思われた。

## 【参考文献】

- 1) Jain KK: HBO therapy in wound healing 2004
- 2) Thom et al: Wound Rep Regen.2011
- 3) K.Suzuki: JSUUM Oct 2011
- 4) 永芳郁文, 佐々木誠人, 吉田公博, 他: Diabetic foot に対する高気圧酸素治療併用療法の効果.日高圧医誌 2002; 37: 221-226.
- 5) 井上治, 野原敬, 砂川昌秀, 他:糖尿病性足部壊死 (DM 足) に対するHBOの治療効果と限界.日本高気圧環境 医学会九州地方会誌 2004;4:11-14.